

栃の木からの手紙



多くの花木・生命がそうである様に、美しい時・華やかな時は短くも美しく燃え、今栃の木は、自分自身を成長させさらに子孫を残すために葉を大きく広げ太陽・自然の恵みを楽しんでいる。そんな栃の木は、自らの木陰をこの時期素敵な癒しの空間とし、鳴き疲れた蝉さえも癒しています。



8月 葉月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6日：広島原爆の日 : 7日：MOA感謝の集い

8日：立秋 … 秋の始まりの日

9日：長崎原爆の日

12日：日航ジャンボ機墜落

14日：満月

15日：終戦の日

23日：処暑 … 暑さが納まり、涼風が吹き始める。

29日：新月



自然農法圃場の視察が7月10日に行われました。雨がちな天気の中あまり濡れる事無く午前美幌町の二軒、午後津別町の二軒を視察しました。自然農法は安全・安心な農産物を生産していますが、一個の商品価値のある農産物を作り出すのにどれ程の苦労や農産物の無駄があるのか、いづらか解って頂けたでしょうか？左写真の足元のキャベツは7月下旬には、暑さの為か？葉っぱが殆どメッシュになっていて流石に涼しそうです。考えた物ですね。



午後には、MOA自然農法文化事業団の宮島理事長と高橋普及課長がはるばる伊豆の大仁より来町され、網走市長との会談の合間をぬって視察に合流されました。

家庭菜園で作れる手軽な作物として、「赤シソ・青シソ」をお勧めします。上記のキャベツの隣に赤シソを植えてありますが、虫の害が殆ど見当たらないのです。子供に飲ませたいジュースとして、また梅漬けや焼酎のお伴にシソを庭の片隅に作ってみては如何でしょうか？

日本人には、アジア太平洋戦争に関して記憶すべき四つの日があると云います。その三つは8月に在ります（世界的には、終戦の日は9月2日）。あと一つは、6月23日沖縄戦終結の日。戦争体験は有りませんが少なくともこの時期には、戦争の悲惨さを憂え礎となられた多くの方々のご冥福を祈り、今在る幸せに感謝したいものです。

今、名寄農場のひまわり畑でロケした映画「星守る犬」が上映されていますが、是非、見てみたい映画だと思っています。